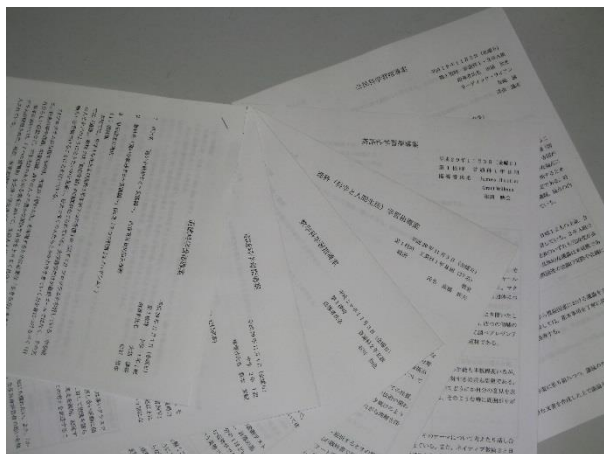


10月の校内教員研修会

9月の研究授業でいただいたご指導とご助言を各授業者が消化し、11月3日の公開研究会当日に実施予定の授業計画に反映しながら、本番用の学習指導案原案を作成しました。

今回は10月10日（火）中間試験初日の午後を利用し、広島大学大学院教育学研究科 准教授 木下 博義 先生にご来校いただき、この原案をたたき台として、各教科内で指導案検討会を実施しました。



各科内協議会の様子をご紹介します。

●道徳（7つの習慣 J®）



●中学校 国語



●数学・数学B



●理科・科学と人間生活



●英語・コミュニケーション英語 I



●学校設定教科・模擬国連



各科内協議会終了後に全体会を実施しました。まず各授業者代表が、授業の狙いと内容の概要および“学びの工夫点”について報告し、次に各教科主任から科内協議での指摘事項や対策案等を報告し、全員で情報を共有しました。

情報共有の後、指導講師の先生方から全体に対して、授業内容の構築については徐々にレベルアップしているものの、指導案の表現方法についてはさらにステップアップが必要で、見学者の視点で再検討が必要である旨のご指導をいただきました。

全体会の様子は次の通りです。



今回で公開研究会に向けた校内研修会は一区切りです。今までの研修を踏まえ、研究主題である「主体的学修者を育てる授業」の創造を目指し、研究会当日はその一端が公開できるよう、教員一同今後も研鑽を積んでまいります。